

TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

Vol.88

配信日：2025 年 5 月 29 日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

季刊誌「温故知新」1 号 記事紹介

“ ウンコの通信簿 ”

相談役・理事 北村 豊 先生

当会の相談役・理事 北村豊先生からご提供いただいた記事をご紹介します。

記事の内容につきましては、別紙※(Email の場合：別添)(Fax の場合：本状含め 2 枚目)の通りでございます。

※ 別紙 出展元： 季刊誌「温故知新」1 号 2025 年(令和 7 年)4 月 1 日 発行

事務局より

会員の先生方から情報提供いただければ、その都度、施設長に相談して、「TPDS NEWS」にて配信させていただきます(施設長より)。従来は、歯科・医科に関する内容を配信しておりましたが、北村先生のご指導もあり、「TPDS NEWS」を会員・関係各位の交流の場(ツール)として活用していただくことを目的に、配信する内容(企画)の幅を拡大することと致しました。お気軽に「TPDS NEWS」の材料(ネタ)を事務局まで(下記)ご提供いただけると幸いです。ご検討の程、何卒宜しく願い申し上げます。※反社会的内容等の場合は、配信を断念する場合もございます。予めご了承ください。

〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ 3F

一般社団法人東京形成歯科研究会 事務局

Email: info@tpdimplant.com

TEL:03-3919-5111/FAX:03-3919-5114

ウニコの通知簿

北村 豊

うんこ漢字ドリルが、驚異的なベストセラーになったのは、幼児教育が専門の三重大学教育学部の富田昌平教授が論文「幼児の下品な笑いの発達」の中で「日常性からの逸脱というところ、うんこ好きの理由がある。日々の何気ない日常会話の中に、ひょいと『うんこ』という非日常性が投げ込まれると、そこに笑いが爆発する」と述べている。たまたまうんこへの反応も年齢と共に変化するという。それを示すように小学3年生位まではうんこ漢字ドリルもよく売れるが、学年が上がるほど売れ行きは減るといふ。



さて、何故初っ端からこんな話を書いたかというと、今回の号のテーマが「懐かしさ」だったからである。

私は戦後の団塊の世代の昭和23年生まれで、来る日も来る日もおやつはサツマイモという日々もあった。そんな日常でも母の手回りの漬け物が食卓に上らない日

はなく、カブ、キュウリ、ニンジン、スイカの皮の浅漬けなど色々であったが、何となく主役はダイコンで、家族の好物でもあったのであるが、なんと当時飼っていた柴犬のチビも大好物でパリパリといき音をたてながら食べていたのもとても懐かしく思い出す。その当時の奈良市内には下水道

なんてものは無く、「ぼつとん便所」に溜まった我が家の困り物のうんこは、農家の人が無料でこぼさずに肥たこに汲み取って下さるロー・テク? いや今となってはその技術を持つ人を探すのが困難なハイテクに値する有難い時代であった。さらに農家の人は11月から12月頃になるとリヤカーに秋蒔き大根を山のように積んで「御礼」として持って来て下さるのが「我が家の風物詩」となっていたことを秋になるととても懐かしく思い出す。

化学肥料もない当時の農家では、糞便を畑近くの「田舎の香水」の漂う肥溜めで十分に発酵させ、肥焼けしないよう希釈して畑の貴重な肥料としてリサイクルしていたのである。

便槽を綺麗にしてもらった上、私達のし尿で元氣よく育った大きな大根を感謝の気持ちとしていた。だくなんて、何と嬉しいことではないだろうか!

鎌倉時代に本格化し、1960年代まで続いた世界にも類を見ないであろうこの「し尿循環システム」は、その後、お金を払うパキウムカー、そして下水道へと変化していったが、昔の少年時代

北村 豊 (きたむら ゆたか)

1948年奈良県生まれ。昆虫の研究では有名な東京農工大学の昆虫学研究室で2年近く学ぶ。神奈川歯科大学卒業。青年海外協力隊員として、3年間マレーシアで先住民の歯科治療に従事。今までに国際医療協力でマレーシア、パングラディッシュ、カンボジアなど滞在中の国多数。現在、松本歯科大学病院臨床教授(口腔外科)、長野県小布施町「信州口腔外科インプラントセンター」所長。



◆し尿は商品

歴史を紐解いてみると、し尿の農地還元は、鎌倉時代から本格化し、江戸時代にはし尿は肥料の原料となる立派な「商品」として売

④コミュニケーション能力の向上などが出来ることが判って来た。さあ、懐かしむことを始めてみませんか?

さて、筆を置く前にホモ・サピエンス(ラテン語でヒト)の意味をご存知だろうか? 「賢明な人」という意味なのである。

私は「賢明な人」でありたいと願うホモ・サピエンスではあるが、未だその境地には達しておらず、自己評価では厚かましくも「ぼさサピエンス」といったところであろうか...

私は、ヒトやシカのうんこや大根、そして大好きな昆虫を大いに懐かしみたいと思います。さて皆様は何を懐かしんで「賢明な人」になる「前向きな努力」をされるのでしょうか?

◆賢明な人

さて、「過去を懐かしむ」ことは、現在の社会では、「また昔のことばかり話している」と言われてネガティブに見られがちなのが実態ではないだろうか?

最近の脳科学の研究では、そのような見方を大きく変える知見がいろいろ判明してきている。

「昔を懐かしむ」ことによつて、脳で唯一の神経細胞の再生が認められている海馬を刺激することによって、①記憶力の維持と改善、②感情の安定とポジティブな気持ちの喚起、③自尊心の向上、

◆美しいルリセンテコガネ
それは春日大社の神鹿として古来より若草山から奈良公園にかけて棲息するこのニホンシカのおか

うんこ漢字ドリルがもうさんのこと無かった時代に育った私だが、旧奈良市街の大仏殿から徒歩6分7分の近距離の所に生まれた私は、シカの糞を思い出しでもノスタルジア(懐かしさ)を感じている。

そのおかげで、日本の食糞性コガネの約150種の内、50種類もが奈良公園で観察されている。このノシバは奈良公園で食されることによつて他地域の日本の自生種であるノシバとは130年以上をかけて遺伝子によって食されて、食されることによりより芽を出すという変化が研究では認められている。

大和昆虫愛好会という、主として奈良公園や春日山の昆虫の分布や種類を調べて定期刊行物にする会があり、虫は無視できない私もその一員として勉強はそっちのけで昆虫と向き合っていた。その昆虫の中でも美しさでは是非知ってい



ルリセンテコガネ